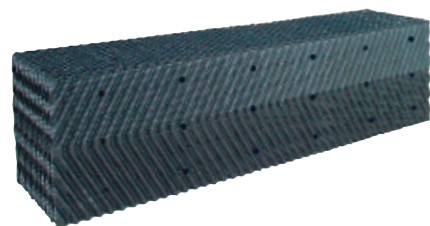


## 主要部材

■空隙率…95% ■耐自動車荷重…T-14以下 ■埋設深さ…最大2.9m

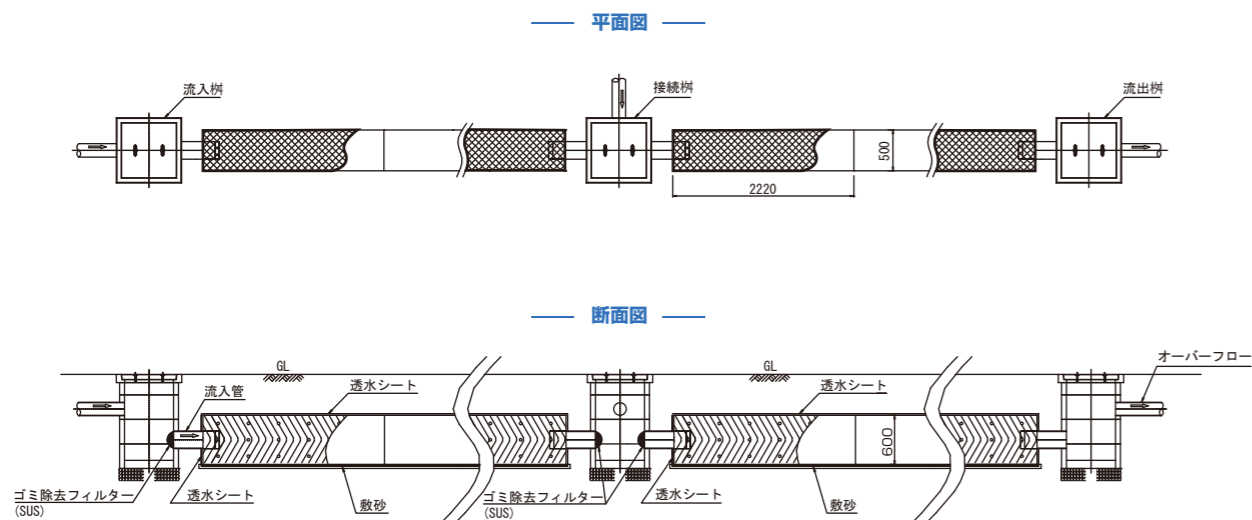


規格表

部材名	記号	寸法 (mm)				参考質量 (Kg)
		長さ	幅	高さ	孔径	
フルサイズ仕様	HT-W500-2220	2220	500	600	32	30
	HT-W330-2220	2220	330	600	32	20
ハーフサイズ仕様	HT-W500-1110	1110	500	600	32	15
	HT-W330-1110	1110	330	600	32	10

## 構造図例

### ■トレンチ参考図



### [ 営業品目 ]

雨水貯留浸透製品 / 宅内下水管路製品 / 道路下水道管路製品 /  
 情報通信管路製品 / 景観エクステリア製品 / 水環境製品 /  
 その他土木関連資材



<http://www.ebata.co.jp/>

本社 営業部: 〒125-0041 東京都葛飾区東金町1-38-2  
 TEL.03-3600-1522 FAX.03-3600-2090 e-mail: eigyou@ebata.co.jp



印刷インキに「植物油インキ」を  
 使って印刷しています。

この用紙には古紙/リフが利用されています。

お問い合わせ・ご用命は

※製品の仕様、梱包仕様、色、は予告なく変更することがありますのでご了承下さい。  
 ※印刷のため、色調は実物と異なることがあります。

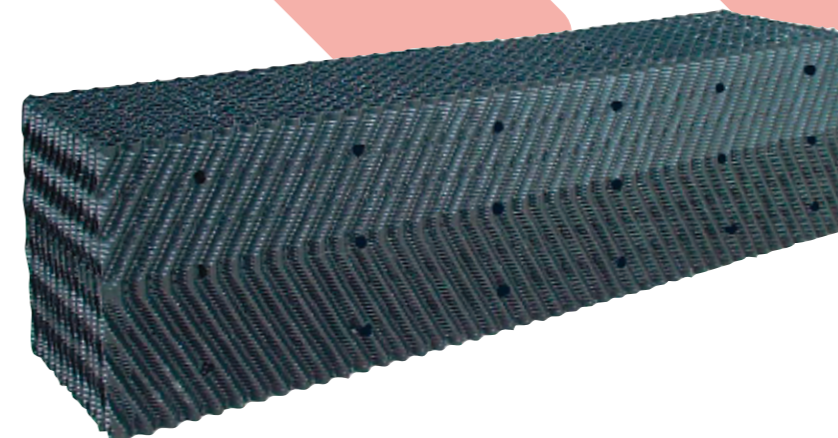
201803CR



エバタ 雨水貯留浸透製品

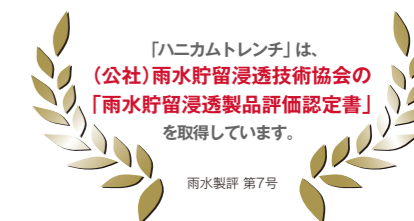
# ハニカムトレンチ

## HONEYCOMB TRENCH



特殊製法プラスチック製

販売エリア: 関東地区



「ハニカムトレンチ」は、  
 (公社) 雨水貯留浸透技術協会の  
 「雨水貯留浸透製品評価認定書」  
 を取得しています。

雨水製評 第7号

# 軽量ハニカム構造ブロック。 「ハニカムトレンチ」

## 特性

### ■施工性

特殊工具や施工の専門知識不要。  
軽量ブロックを並べるだけの簡易施工。  
普通作業員による施工が可能です。

### ■経済性

ハニカム構造のため高強度で、  
土被り条件によりT-14以下までの荷重に  
対応可能です。

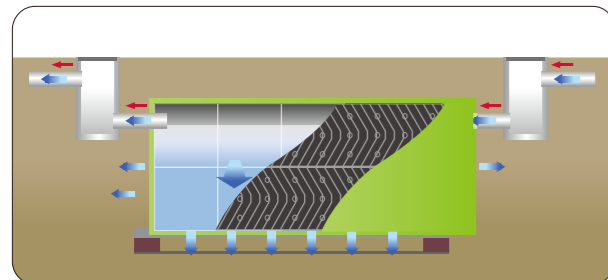
### ■トレンチへの対応

有孔管も単粒度砕石も不要。  
軽量なので狭小地への設置も十分可能です。

近年、都市化の進展により、地下水の枯渇、集中豪雨による都市型浸水災害の多発などが深刻化しております。これに対し、平成16年5月に「特定都市河川浸水被害対策法」が施行されるなど、各地で雨水流出抑制に対する取り組みが高まっており、組立が簡易で、工期短縮が図れる再生プラスチックを使用した工法が、高い評価を得ています。「ハニカムトレンチ」は槽またはトレンチにおいて、構造的安全性を保ちながら、95%の高空隙率を有し、ブロックを並べるだけで施設の構築が可能です。エバタは、長年の実績と蓄積したノウハウでこれからも社会に貢献してまいります。

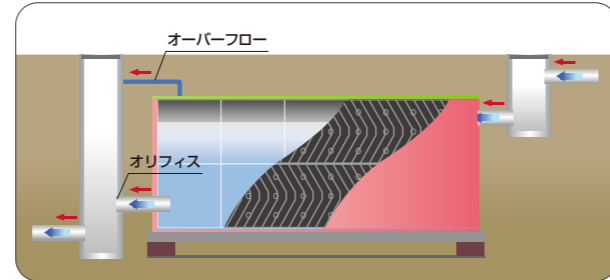
## 施設のタイプ

### 浸透施設



槽全体を透水シートで包むことで、雨水を効率よく地中へ浸透させる。

### 貯留施設



槽を遮水シート・保護シートで包むことにより、槽内に雨水を一時的に貯留し、オリフィス機能によって徐々に槽外へ流出させる。

## 適用範囲

対応自動車荷重	貯留・浸透槽として使用する場合		トレンチとして使用する場合				
	T-2~T-8	T-14	T-2	T-4	T-8	T-14	
許容土被り	0.3m~2.3m	0.5m~2.2m	0.15m~2.3m	0.2m~2.2m	0.3m~2.0m	0.5m~1.8m	
最大埋設深さ	2.9m以下	2.9m以下	2.9m	2.8m	2.6m	2.4m	
使用範囲	1段階の場合	土被り0.3m~2.3m	土被り0.5m~2.2m	土被り0.15m~2.3m	土被り0.2m~2.2m	土被り0.3m~2.0m	土被り0.5m~1.8m
	2段階の場合	土被り0.3m~1.7m	土被り0.5m~1.7m	土被り0.15m~1.7m	土被り0.2m~1.6m	土被り0.3m~1.4m	土被り0.5m~1.2m
	3段階の場合	土被り0.3m~1.1m	土被り0.5m~1.1m	土被り0.15m~1.1m	土被り0.2m~1.0m	土被り0.3m~0.8m	土被り0.5m~0.6m
	4段階の場合	土被り0.3m~0.5m	土被り0.5m	土被り0.15m~0.5m	土被り0.2m~0.4m	—	—

※ハニカムトレンチの高さは4段まで積み上げることができますが、幅33cmのハニカムトレンチを使用する場合は、2段積までとなります。また幅50cmと幅33cmのハニカムトレンチを組み合わせて使用する場合も、2段積までとなりますのでご注意ください。

### △ 施工上の注意

- 本製品は槽内に雨水を貯留・浸透させる目的で設計されており、それ以外の用途での使用は、機能低下および事故等につながる恐れがありますので、絶対にご使用にならないでください。
- カタログおよび技術資料にある表示荷重(耐自動車荷重)等、使用範囲を超える荷重・条件でご使用になりますと、破損・変形などによる事故を招く恐れがあります。本製品の使用範囲をご確認の上、構造上安全な範囲でご使用ください。
- 施工中および槽設置後の地下水や降雨による本製品の浮き上がり防止のため、十分な浮力対策および、排水対策を行ってください。(※槽設置完了後は速やかに所定の厚さまで、適切な埋め戻しを行ってください)
- 貯留施設の場合、遮水シートの溶着は必ず専門工に委ねてください。
- 製品の保管、使用時の過度な集中荷重、偏荷重および長期間、直射日光下で保管されますと、物性の低下を招きますのでご注意ください。
- 埋め戻しの際は、槽の機能を阻害しない埋め戻し材で、槽の周辺を出来るだけ均等になるように、慎重に作業を行ってください。
- 埋め戻し完了後、槽上部での大型車両の走行や、重機による作業は行わないでください。

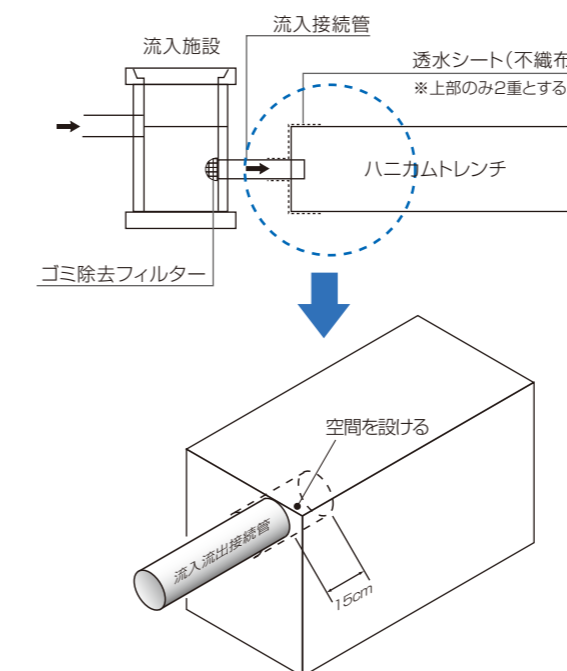
※詳しくは別途「施工要領書」をご用意しておりますので、担当営業までお問合せください。

## 施工手順 (トレンチ)



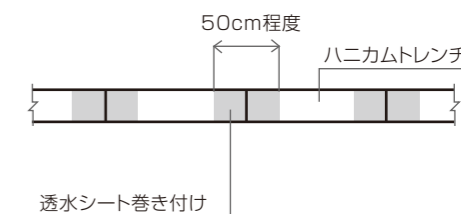
### ■流入施設との接続

接続孔の突き当たりと管先端の間に空間を残す様に接続します。



### ■ハニカムトレンチ同士の接続

ブロック同士を突き合わせ、双方にまたがるように50cm程度の透水シートを巻き付けて接続します。



### △ 設計上の注意

- 建物等構造物の基礎の影響線内の設置は避けてください。
- トレンチの上部及び周辺の植栽は草花程度とし、樹木は植えないでください。
- 汚水・鉱油類等が入らないように配置計画をお願いします。
- ハニカムトレンチの設置長さは、流入管径の120倍を超えない範囲を目安とし、これを超える場合は接続側の配置をお願いします。
- 接続管径は、幅50cmのハニカムトレンチでは塩径200まで、幅33cmのハニカムトレンチでは塩径150までとしてください。

● 管口フィルター等で維持管理を行う場合は、ますの内径を十分に考慮してください。  
※詳しくは別途「技術資料」をご用意しておりますので、担当営業までお問合せください。